



近隣の農薬散布情報を確認しましょう

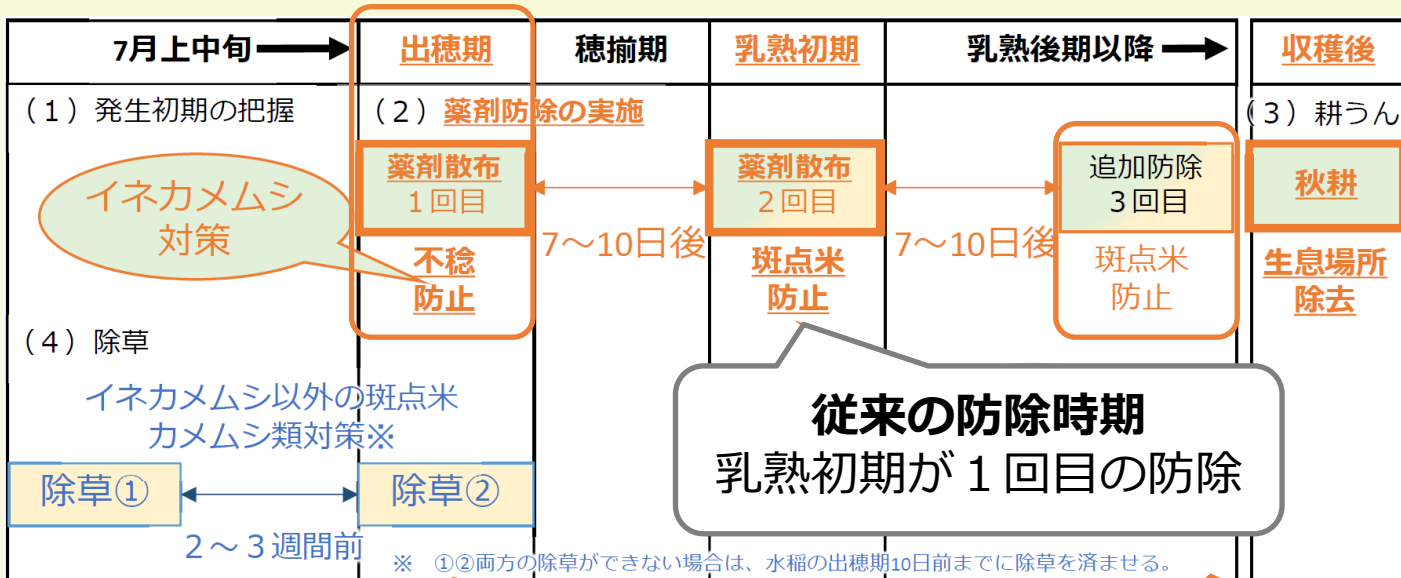
令和8年2月に行われた調査において、イネカメムシ発生地域の拡大が確認されたことから、例年に比較して

① 水稻に対する防除時期が早まる

② 農薬の散布回数が増える

可能性が高くなっています。

図1. イネカメムシの発生地域における斑点米カメムシ類の総合防除対策の体系



R8

水稻の出穂時期
時期を早めた防除の実施

R8

乳熟期以降
発生状況に応じて
追加防除の実施

・ 近隣の水稻農家等の農薬使用者と情報共有に努めましょう

地域の防除計画は、市町や農業団体等のホームページや広報誌等で周知されます。

栃木県ホームページ（畜産振興課）でも農薬散布情報を公開しています。

※周辺地域における水稻の出穂時期（個人でカメムシ防除用の農薬を散布する可能性の高い期間）もご確認ください。



栃木県ホームページ
（畜産振興課）